

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|--------------------|---------------------------|---|-------|
| 1番 | 20番 田畑 純二 議員 | 1. 本市の災害対応策について | (1) 本市では現在、防災減災対策をどのように進めており、その効果と、これらに対する市民の防災意識をさらにどのように高めていくつもりか。 | 市長 |
| | | | (2) 本市では、災害発生後の外部機関との連携や災害救助、応急対応段階、復旧段階、復興段階での各々の対応をどのように考えているか、具体的に示せ。 | 市長 |
| | | | (3) 本市では、地域防災計画の更新と適切な運用をどう計画し、具体化するつもりか、明確に示せ。 | 市長 |
| | | | (4) 本市での地域防災組織、防災訓練、市指定避難場所及び防災ハザードマップ、防災対策総合ガイド等の具体的な実行内容と、今後のこれらの新たな課題への対応策を示せ。 | 市長 |
| | | | (5) 最近の台風等の被害災害状況と、それらに対する国県の支援等を含めた補正予算等での具体的な対応と、災害復旧の具体的な実態とその効果、問題点や対応策を示せ。 | 市長 |
| | | 2. 本市の住宅政策と空き家対策について | (1) 本市での人口増、U・I・Jターン者等の受け入れを図るための定住促進住宅の整備の進め方と、その成果効果と今後の新たな課題等の検証と対応策を示せ。 | 市長 |
| | | | (2) 本市での現在の空き家の実態と空き家率と戸数、それらに対する空き家バンク等を利用しての本市の対応と効果及び新たな問題点と、それらの検証対応策等を具体的に示せ。 | 市長 |
| | | | (3) 現在の市営住宅の具体的な地域別入居状況と最近の傾向、維持管理整備状況、居住者と要望者への要望事項への答え方と効果、及び本市の市営住宅の問題点と基本方針、対策を具体的に明確に示せ。 | 市長 |
| | | | (4) 老朽化している市営住宅の建替えや、誰もが暮らしやすく住みたいと感じる移住定住促進に向けた市営住宅建設や、住宅地の整備をどう考え、予定しているか、地域名をあげて具体的に示せ。 | 市長 |
| | | 3. 廃校となった日吉地域小学校の跡地対策について | (1) 日吉地域で廃校となった吉利・日新・住吉・扇尾小学校の跡地利用の現状と問題点、今後の課題、問題点等への本市としての対応策などを具体的に明確に示せ。 | 市長 |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|-------------------|---|--|---|
| 2番 | 21番 池満 渉 議員 | <p>1. 昨年の4月に突然廃止された「主要農作物種子法」について</p> <p>2. ネット社会、大型店の出店、人手不足など、零細な地元商工業者は疲弊している。一部、民間工事等には、地元業者の優遇措置もあるが、市が発注する小規模な工事や物品購入等に対する行政の対応について</p> | <p>(1) 種子法の廃止による本市の農家・農業への影響をどのように捉えているか。それに対する独自の対応は必要ないか。</p> <p>(2) 鹿児島県は関連条例を廃止し、要綱で対応とのことであるが、具体的な県の対応はどうか。また、県との協議はどのようになされているか。</p> <p>(1) 小規模な工事や物品購入・消耗品など、地元商工業者の受注動向等をどのように評価するか。</p> <p>(2) これらの動向も含め、本市商工業の実態・傾向をどう分析し、また、将来的にはどのようにあって欲しいと考えるか。</p> <p>(3) 「最小の経費で最大の効果を」との行政趣旨は理解できるが、同時に地元商工業者の保護・育成という行政責務との兼ね合いをどのように考えるか。</p> | <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p> |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|-------------------|--------------------------------|---|--------------|
| 3番 | 7番 山口 政夫 議員 | 1. 防災問題に関する質問について | 今までに、以下の2項目の質問を行い、検討して行きたいとの答弁について、どのように検討され対処されたか伺う。 (1) 「防災備蓄品を各支所及び地区公民館等へ分散備蓄しては。」との質問について、どのように対処されたか伺う。 (2) 「非常時に地区公民館の電源確保のため、発電機を整備すべきではないか。」との質問について、どのように対処されたか伺う。 | 市長 市長 |
| | | 2. 消防団救助機材購入について | (1) 消防団への救助機材購入補助事業があり、6品目が指定され、補助も3分の1である。そこで日置市も消防団への救助機材購入を行わないか伺う。 | 市長 |
| | | 3. 消防広域化、消防通信指令広域化について | 昨年、消防広域化の推進期間を平成36年4月1日まで延期との通知が、都道府県知事に通達された。 (1) 消防広域化を市長はどのように受け止めているか伺う。 (2) 消防通信指令広域化について、どのように考えているか伺う。 | 市長 市長 |
| | | 4. 国民宿舎吹上砂丘荘・健康交流館ゆーぶるの在り方について | (1) 平成30年3月29日、吹上砂丘荘在り方検討委員会より答申が出された。答申に、平成30年度中に行政内部での検討委員会を設置し、「今後の方針を固めるべきである」と考える。」と記されている。在り方検討委員会の7項目の答申を踏まえ、どのように検討し、方針を出したか伺う。 | 市長 |
| | | 5. ハラスメントの対応・対処・対策について | 最近、学校等でのいじめや、いじめによる自殺、行政関係でも、ハラスメントによる職員の裁判、不適切な言動等の報道が頻繁にあり、倫理観や道徳観の低下によるとみられるハラスメント・つまり発言・行動等で、相手を不愉快にさせたり、尊厳を傷つけたり、脅威を与えたりする事が根本にあるのではと思う。そこで伺う。 (1) 教育の現場、行政、地区公民館等でのハラスメントの相談、事実確認をした時の対応、対処、対策、指導をどのように行っているか伺う。 | 市長 教育長 |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|-------------------|-----------------------|---|------------------------|
| 4番 | 2番 佐多 申至 議員 | 1. 生ごみ回収事業について | (1) 当事業は、平成24年11月から取り組んでいるが、現在の事業実績はどのような状況か。 (2) 当事業開始後、開始前と比べどの程度経費が削減されたのか。 (3) 生ごみモニター回収処理事業は、平成27～31年度までの5年を期間として報奨金を還元しているが、32年度以降はどう考えているのか。 | 市長 市長 市長 |
| | | 2. 今後の高齢社会に伴う公共交通について | (1) 路線バスとそれを補足するため、高齢者、障がい者、児童生徒、買い物等の生活交通手段として市で導入したコミュニティバスと差別化、運行状況をどう捉えているのか。 (2) 導入目的及び総合計画(都市基盤づくり)をもとに、今後、コミュニティバスの市内移動における利便性の向上、拡充の方向性はあるのか。 | 市長 市長 |
| | | 3. 日置市のインバウンド戦略について | (1) 市は近年、増加している訪日外国人旅行者などの対応をどう捉えているのか。 (2) さまざまな形で外国人を受け入れる際に、観光事業(減災も含む)の備え方(来訪外国人の対応)、就労者の把握(企業や事業者との連携)、自治会との関わり方(地域との協調性)等、今後どのように考え進めていくのか。 | 市長 市長 |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|-------------------|--------------------------------------|--|--|
| 5番 | 1番 桃北 勇一 議員 | 1. 自治会活動について 2. 健康づくり推進条例について | (1) 地域活動ボランティア育成事業に取り組まないか。 (2) 自治会間交流事業に取り組まないか。 (3) 企業のCSRとして、地域清掃活動に協力してもらってはどうか。 (4) まちづくり基本条例に取り組まないか。 (1) 退職後も健康で過ごすために、若い時から取り組んでおくべき健康づくりに、市は何を推進しているか。 (2) 高齢者が生き生きと過ごすための健康づくりに、市は何を推進しているか。 (3) 市の国民健康保険税負担を抑える手立ては何であるか。 | 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|--------------------|-------------------------|---|-------------------------------------|
| 6番 | 12番 黒田 澄子 議員 | 1. 健康で安心安全な日置市を目指して | (1) 高齢者肺炎球菌ワクチン未受診者への救済措置を考えないか。 (2) 39歳～56歳男性の風疹対策の本市の取り組みはどうか。 (3) HTLV1根絶のための粉ミルク支給を考えないか。 (4) 妊婦健診無料券14枚では足りない場合の対策は。 (5) 体験型健康づくり教室の支援で飲食店に健康メニューができたが、市民等が一同に食べられるイベント開催を考えないか。 | 市長 市長 市長 市長 市長 |
| | | 2. 児童虐待ゼロを目指して | (1) 本市への相談・通報等の現状はどうか。 (2) 千葉県野田市の事件のような悲痛なSOSがあった場合、どのような対応を考えるか。 (3) 女兒の母親はDVを受けていた。女性相談・配偶者暴力相談支援センター・子ども支援センター・日置警察署との連携をどう考えるか。 (4) 虐待・いじめの声なき声を救い上げるため、SNS等での相談に取り組まないか。 | 市長 教育長 市長 教育長 市長 教育長 |
| | | 3. 家族に死亡者が出た後の諸手続きの簡素化を | (1) 死亡者が出た後の市役所等(外部関係機関含む)への届け出は、どのようなものがどれくらいあるか。 (2) 現状の手続きの状態はどうか。 (3) 別府市おくやみコーナー等のような、市民に寄り添った手続きの軽減を図らないか。 | 市長 市長 市長 |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|--------------------|--|---|--|
| 7番 | 17番 坂口 洋之 議員 | 1. 増加する外国人との共生・協働について | (1) 本市の外国人の3年間(29～31年)の国別・住民登録件数の状況は。 (2) 改正入管難民法が4月から施行されるが、本市の考えと自治体の役割は何か。 (3) 外国人の短期就労者の増加は、深刻な労働力不足が背景にある。どのような職種、職業が本市では不足しているのか。商工会、建設業協会、介護事業者からの意見・要望等は市に寄せられていないのか伺う。 (4) 外国人の短期就労者の増加により、自治会に苦情も寄せられている。どのような苦情・要望が寄せられ、誰がどのように解決しているのか、3月時点の現状を伺う。 (5) 外国人も、「日本文化を学びたい、市民と交流したい」という声もある。市として、交流イベント等を計画できないか伺う。 | 市長 市長 市長 市長 市長 |
| | | 2. 業務の多忙化・複雑化する中での本市の正規職員、非正規職員の職員体制について | (1) 市の業務の増加は、少子高齢化・人口減少問題など社会構造の変化により、自治体の担う業務が多岐にわたり増加している。現状をどう認識しているのか伺う。 (2) 正規職員が大幅に削減される一方で、業務増加分の多くが非正規職員の配置で対応している。長期的な雇用と、専門的なスキルを高めるには、業務量に応じた適正な正規職員の採用・配置を進めるべきではないか伺う。 (3) 2020年4月から、会計年度任用職員制度が施行されるが、条例化に向けての本市の考えを伺う。 (4) どのような職種・職員が該当するのか伺う。 | 市長 市長 市長 市長 |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|------------------|---|---|--|
| 8番 | 6番 福元 悟 議員 | 1. 中山間地域における資源管理構想と保全活動について 2. 市内企業の雇用情勢について | (1) 対象組織の構想策定状況はどうか。 (2) どのような課題が報告されているか。 (3) 課題解決に向けて国県補助金を含め、どのような財源を充てていくのか。 (4) 農地の荒廃と担い手への農地集約に対して、課題をどのように捉えているか。 (5) 農家の高齢化の中、農村や農業施設等の保全活動に市民と協働できる仕組みをどう考えるか。 (1) 経済情勢の緩やかな回復が報道されるが、本市への影響をどのように判断しているか。 (2) 工場等立地促進補助金で支援した企業の雇用状況はどうか。 (3) 日置市異業種交流懇話会における本市に対する要望は、どのようなものが上がっているか。 (4) 事業拡大など設備投資に動きがあるか。 (5) 出入国管理法の改正から、外国人就労の受入れの動きはあるか。 (6) 新たな工業団地を確保していくべきではないか。 | 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|--------------------|----------------------|---|---|
| 9番 | 18番 大園 貴文 議員 | 1. 日置市地域公共交通の見直しについて | <p>(1) 公共交通会議の中での課題と対策について、どのように改善され利便性の向上に図られているか。</p> <p>(2) 鹿児島市の70歳以上の市民は、市電・バス・桜島フェリーを3分の1で利用できる敬老パスを導入しているが、本市も導入すべきでないか。</p> <p>(3) 市内の高校に通う学生に対し、薩摩川内市が取り組んでいる通学定期券等購入補助金の検討をすべきでないか。</p> <p>(4) 日置市観光案内所から発着する市内循環バスで、地域間交流の利用促進を積極的に推進し、活性化策を進めるべきでないか。</p> | <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長</p> |

平成31年3月議会 一般質問通告書

| 質問順 | 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----|--------------------|------------------|---|-------|
| 10番 | 14番 山口 初美 議員 | 1. 高齢者の補聴器助成について | (1) 障害者総合支援法による補聴器購入の対象にならない聴力機能の低下がある高齢者に対し、補聴器購入の助成制度を、高齢者支援の新しい制度としてスタートできないか。 | 市長 |
| | | | (2) 難聴と認知症とは強いつながりがあることが分かっており、認知症の約8割は、難聴の放置によるもので、本来の認知症はそう多くないのではとも言われだしているので、4年に一度実施している高齢者実態調査に「聴こえ方に障害を感じているか」という項目をつけるべきではないか。 | 市長 |
| | | | (3) 障害者認定の基準以下でも難聴で生活に支障が出ている場合があり、補聴器を十分活用できるようになれば、高齢者の生きがいつくりと生活支援及び社会参加の促進を図ることができ、さらに介護費や医療費を抑えることができると考えるが、どうか。 | 市長 |
| | | 2. 脱原発について | (1) 2月9日実施の原子力防災の避難訓練の参加者や住民から、どのような意見が寄せられているか。 | 市長 |
| | | | (2) 九州電力や原子力規制委員会は火山モニタリングで火山の状態に変化があれば、必要な場合は原発を止めて核燃料を運び出すなどの措置を取ると説明していたが、どういうときに原発を止めるとかの基準は具体的に示されたか。 | 市長 |
| | | 3. 水道法改正について | (1) 水道事業の民営化や広域化を検討するのか。 | 市長 |